

科目番号 70

分野	基礎分野・専門基礎分野・専門分野Ⅰ・専門分野Ⅱ・ 統合分野 ・臨地実習			
授業科目	災害看護	科目責任者		
単位/時間数/授業回数	1 単位/ 15 時間/ 8 回			
授業の種類	講義 ・ 演習 ・ 実習 ・ 実験 ・ 実技			
必修・選択	必修 ・ 選択	年次・開講時期	3 年次・ 前後期	
履修条件	有 ・ 無 ()			
担当教員名		実務経験の有無・実務経験内容		
		有 ・ 無 (看護師)		
学習目的と到達目標				
<p>〈学習目的〉 災害時の看護など広い視野に基づき看護活動できる能力を養う。</p> <p>〈到達目標〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 災害直後から支援できる災害看護の基礎的知識が理解できる。 2. 被災者特性に応じた災害看護の基礎的知識が理解できる。 3. 災害と心のケアについて理解できる。 4. トリアージについて理解できる。 				
授 業 計 画				
回数 (1回 90分)	学習課題	学習内容	授業方法	担当
1	災害医療の基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害の定義、種類と分類 ・ 災害関連死・平等との違い ・ 7 要素、災害サイクル、災害時の対応 	講義	
2	災害医療の基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害拠点病院、機能と役割 ・ DMAT ・ マスギャザリング ・ 情報について、メディア対応 	講義	
3	災害看護の基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害サイクル 看護の役割 ・ 災害時の要援助者 ・ 救急看護 	講義	
4	トリアージ	<ul style="list-style-type: none"> ・ トリアージとは ・ トリアージの方法 	講義	
5	災害と心のケア	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害時の心理面への影響 ・ 心のケア ・ 災害看護活動 	講義	
6	災害医療活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域における災害時の取り組み ・ 国際的な災害 ・ 世界の健康問題 	講義	
7	トリアージの実際	<ul style="list-style-type: none"> ・ トリアージの実際 ・ 搬送方法や固定方法等 	演習	

回数 (1回 90分)	学習課題	学習内容	授業方法	担当
8	終講試験 筆記 (60分)		試験	
授業内訳	講義：6回 (12時間) 演習：1回 (2時間) 試験：1回 (1時間)			
準備学習等				
必要時、講師から授業時間内に伝達有				
成績評価の方法	筆記試験 (100%) 成績評価の基準：60点以上を合格 80点以上 100点まで A 70点以上 80点未満 B 60点以上 70点未満 C の評価となる。 60点未満は再試験を受験し 60点以上を合格 評価は C となる			
テキスト	浦田喜久子編：：系統看護学講座 統合分野 災害看護学・国際看護学 看護の統合と実践③, 医学書院.			
参考図書				
備考				
国家試験出題基準	必修問題 目標Ⅳ-16-G-h	看護の統合と実践 目標Ⅱ-2-A-a～c 目標Ⅱ-2-B-a～d 目標Ⅱ-2-C-a～d 目標Ⅳ-4-i		

科目番号 71

分野	基礎分野・専門基礎分野・専門分野Ⅰ・専門分野Ⅱ・ 統合分野 ・臨地実習			
授業科目	医療安全と看護の統合	科目責任者		
単位/時間数/授業回数	1 単位/ 30 時間/ 15 回			
授業の種類	講義 ・ 演習 ・ 実習 ・ 実験 ・ 実技			
必修・選択	必修 ・ 選択	年次・開講時期	3 年次・前後期	
履修条件	有 ・ 無 ()			
担当教員名		実務経験の有無・実務経験内容		
		<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無 (医療安全管理者)		
		<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無 (感染管理認定看護師)		
		<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無 (看護師)		
学習目的と到達目標				
<p>〈学習目的〉</p> <p>医療安全の基礎的知識を理解し、安全に基づいた看護実践ができる能力を養う。</p> <p>〈到達目標〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療における安全管理の基盤を理解する。 2. リスクマネジメントの概念を理解する 3. 事故防止に必要な考え方、看護業務における事故防止対策を理解する。 4. インシデントレポートの意義を理解する。 5. 医療安全とコミュニケーションの重要性について理解する。 6. 組織としての医療安全を理解する。 7. 医療安全対策の国内外の潮流について理解する。 				
授 業 計 画				
回数 (1回 90分)	学習課題	学習内容	授業方法	担当
1	医療安全	・医療安全を学ぶことの大切さ ・ヒューマンエラー、人間特性 ・事故防止の考え方	講義	
2	診療の補助と 事故防止 1	・診療の補助と事故防止（総論） ・注射業務 ・エラーパターンの自己判断テスト	講義	
3	診療の補助と 事故防止 2	・注射業務に用いる機器での事故防止 ・輸血業務と事故防止	講義	
4	診療の補助と 事故防止 3	・内服と薬業務と事故防止 ・経管栄養（注入）業務と事故防止 ・KYTについて	講義	
5	診療の補助と 事故防止 4	・チューブ管理と事故防止 ・KYTの実際	講義	
6	療養上の世話の 事故防止 1	・療養上の世話における事故の捉え方 ・転倒転落事故防止	講義	

回数 (1回 90分)	学習課題	学習内容	授業方法	担当
7	療養上の世話の事故防止 2	<ul style="list-style-type: none"> ・摂食中の窒息、誤嚥事故防止 ・異食事故防止 ・入浴中の事故防止 	講義	
8	業務領域をこえて共通する間違い 1	<ul style="list-style-type: none"> ・業務領域をこえて共通する間違いと発生要因 ・患者間違い ・KYTの実際 	講義	
9	業務領域をこえて共通する間違い 2	<ul style="list-style-type: none"> ・間違いを誘発する多重課題、タイムプレッシャー ・臨地実習中危険だと思った場面のGW 	講義	
10	看護師の労働安全衛生上の事故防止	<ul style="list-style-type: none"> ・抗がん剤/放射線暴露防止、ラテックスアレルギー防止 ・院内暴力 	講義	
11	組織的な安全管理体制への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・組織的な医療安全管理 ・システムとしての事故防止対策 ・医療安全対策の国内外の潮流 	講義	
12	職業感染	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師が直面する職業感染 血液/体液媒介感染、麻疹、水痘、風疹、流行性耳下腺炎、結核 	講義	
13	職業感染への予防対策	<ul style="list-style-type: none"> ・標準予防策 ・感染経路別予防策 	講義	
14	感染経路別予防策の実際	<ul style="list-style-type: none"> ・感染経路別予防策の実際 	演習	
15	終講試験 (筆記) 60分		試験	
授業内訳	講義：13回(26時間) 演習：1回(2時間) 試験：1回(2時間)			
準備学習等				
必要時、講師から授業時間内に伝達有				
成績評価の方法	筆記試験(100%) 成績評価の基準：60点以上を合格 80点以上100点までA 70点以上80点未満B 60点以上70点未満Cの評価となる。60点未満は再試験を受験し60点以上を合格 評価はCとなる。			
テキスト	川村治子編：系統看護学講座 統合分野 医療安全 看護の統合と実践②, 医学書院			
参考図書				
備考				
国家試験出題基準	必修問題 目標Ⅲ-12-A-i 目標Ⅲ-12-B-a, b 目標Ⅳ-15-B-a～e 目標Ⅳ-15-B-a, e	看護の統合と実践 目標Ⅰ-1-E-a～c		

科目番号 72

分野	基礎分野・専門基礎分野・専門分野Ⅰ・専門分野Ⅱ・ 統合分野 ・臨地実習			
授業科目	看護管理	科目責任者		
単位/時間数/授業回数	1 単位 / 15 時間 / 8 回			
授業の種類	講義 ・ 演習 ・ 実習 ・ 実験 ・ 実技			
必修・選択	必修 ・ 選択	年次・開講時期	3 年次・前後期	
履修条件	有 ・ 無 ()			
担当教員名		実務経験の有無・実務経験内容		
		有 ・ 無 (認定看護管理者)		
学習目的と到達目標				
<p>〈学習目的〉 今までの学習を統合させ、チーム医療及び他職種との協調の中でメンバーシップ、リーダーシップを理解し、看護をマネジメントできる基礎的能力を養う。</p> <p>〈到達目標〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 看護管理の定義、概念を理解する 2. 看護サービスマネジメントの概念を理解する 3. 看護におけるメンバーシップ及びリーダーシップのあり方を理解する 4. 医療チームの必要性と他職種との協働・連携のあり方を理解する 5. キャリアマネジメントについて理解する 6. 看護師として働く心構えを学ぶ 				
授 業 計 画				
回数 (1回90分)	学習課題	学習内容	授業方法	担当
1	看護とマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・看護管理の定義 ・看護管理の概念構成、基本的要素 ・医療情勢 	講義	
2	看護ケアのマネジメント1	<ul style="list-style-type: none"> ・看護ケアのマネジメントのプロセス ・看護職の機能 ・チーム医療 	講義	
3	看護ケアのマネジメント2	<ul style="list-style-type: none"> ・チームマネジメント (演習) 	演習	
4	看護ケアのマネジメント3	<ul style="list-style-type: none"> ・演習の振り返り ・看護組織論 (チームマネジメント、ケアマネジメント) 	講義	
5	人材のマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・人材のマネジメント ・日常業務のマネジメント 	講義	
6	看護職のキャリアマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアとキャリア形成 ・看護職のキャリア形成 ・キャリア開発論 	講義	
7	看護管理まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめ、小テスト 	講義	
8	終講試験 (筆記) 60分		試験	

授業内訳	講義：6回（12時間） 演習：1回（2時間） 試験：1回（1時間）	
準備学習等		
必要時、講師から授業時間内に伝達有		
成績評価の方法	筆記試験（100%） 成績評価の基準：60点以上を合格 80点以上100点までA 70点以上80点未満B 60点以上70点未満Cの評価となる。60点未満は再試験を受験し60点以上を合格 評価はCとなる。	
テキスト	上泉和子他編：系統看護学講座 統合分野 看護管理 看護の統合と実践①、医学書院	
参考図書		
備考		
国家試験出題基準	必修問題 目標 I-4-A-f 目標 I-5-A-a～d	看護の統合と実践 目標 I-1-A-a～c 目標 I-1-B-a～h 目標 I-1-C-a～e 目標 I-1-D-a～d 目標 I-1-E-c 目標 I-1-F-a～e 目標 I-1-G-a, b